

木曾三川流域の生態系ネットワーク形成に関連する地域の取り組み発信

少しずつ春の陽気を感じられるようになってきましたね。4月から次のステップに進む方も多いのではないのでしょうか。さて、木曾三川流域生態系ネットワークも、令和8年4月から取り組み方針の基本となる計画が次のステップに進みます。もっと多くの方に木曾三川流域生態系ネットワークの取り組みに携わってほしいという思いが強い計画になっています。このニュースレターには、取り組みに尽力いただいているエコネット応援団の皆様の活動が記載されていますので、木曾三川流域生態系ネットワークの取り組みの参考にしてみてください！

第13回木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会が開催されました！

推進協議会事務局からの報告 岐阜県岐阜市 2026.2.26[水]

令和8年2月26日(水)に第13回木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会が開催されました。木曾三川流域生態系ネットワークの取り組みは、令和3年度から令和7年度まで、木曾三川流域生態系ネットワーク第2期推進計画にもとづき推進してきました。

今年度は、第2期推進計画のとりまとめを行い、さらに令和8年度から令和13年度までの取り組み方針となる第3期推進計画の策定を行いました。第3期推進計画では、指標種や取り組みの認知度アップや地域連携などに注力していきますので、エコネット応援団の皆様には、引き続き取り組みを継続していただきながら、第3期推進計画の目標達成に向けて、皆様の活動や指標種の広報啓発や様々な団体や個人との連携など、より一層積極的に取り組んでいただけたらと思います。

事務局もより積極的に取り組み支援を行ってまいりますので、みんなで力をあわせて、イタセンパラやハリヨ、ニホンウナギをはじめ、多様な生物が生息する木曾三川流域の環境を保全していきましょう！！



▲第13回木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会の様子

木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会とは…？

木曾三川における生態系ネットワークを形成する取り組みの効果的な推進方策の検討や事業の進捗管理・とりまとめを行う、いわば木曾三川流域エコネットの船頭としての役割を担っており、学識者、民間団体代表、地方自治体、国土交通省、環境省、農林水産省により構成されています。



▲木曾三川流域生態系ネットワーク第3期推進計画 (木曾三川流域生態系ネットワークHPで公表予定)

環境SDGsおおがき未来創造フェスティバル2026が開催されました！ 大垣市環境政策課からの報告 岐阜県大垣市 2026.3.14[土]

環境をテーマに楽しく学び、実践につながるきっかけづくりや環境SDGsの輪を広げることを目的とし、令和8年3月14日(土)に「環境SDGsおおがき未来創造フェスティバル2026」をソフトピアジャパンセンターにて開催しました。

会場では、家庭でできる地球温暖化防止や、ハリヨ等の保護活動に関する取り組みなど、企業や団体による活動が紹介されました。

また、マーブルクレヨンを使ってダンボールクラフトに色を塗る体験や、カワゲラウオッチング、ハギレを使って、イチゴ畑のアートパネルをつくるなど、さまざまな体験ブースもあり、ワークショップに取り組みながら、楽しくSDGsを学べるイベントになりました。

今後も環境に関心のある方だけでなく、幅広い世代の方々にご参加いただけるようイベントを盛り上げていきたいです。



▲会場内で行われた体験イベントの様子



▲木曾三川流域エコネット応援団事務局もブースを出展しました！



▲市民環境賞授賞式も実施されました

第16回イタセンパラの勉強会が開催されました！

環境省中部地方環境事務所からの報告
愛知県一宮市 2026.2.14[土]

木曾川水系イタセンパラ保護協議会が、開催しているイタセンパラの勉強会は今年度で16回目を迎えました。本勉強会は、イタセンパラの生態などを地域の方々に広く知っていただくことを目的として、毎年開催しております。今年度は、環境省中部地方環境事務所、国土交通省木曾川上流河川事務所、アクア・トゴふ池谷館長による木曾川でのイタセンパラの保護に関する紹介をはじめ、近畿地方でイタセンパラの保全に尽力されている河合先生にもご登壇いただき、淀川水系のイタセンパラ保護活動についてご講演いただきました。

当日は多くの方にご来場いただき、イタセンパラの保全について理解が一層深まるとともに、淀川でのイタセンパラの現状を共有する貴重な機会となり、大変有意義な勉強会になったと思います。

環境省としても引き続き、イタセンパラの保全への関心を高める場として、イタセンパラの勉強会の内容の充実にも今後も努めてまいります。また、関係機関や地域の皆様と連携しながら、希少な生きものの保全に向けた取組を進めてまいります。



▲「イタセンパラの勉強会」の様子



▲国土交通省木曾川上流河川事務所による開会あいさつ



▲環境省中部地方環境事務所による開会あいさつ



エコネット応援団
新しく仲間が加わりました！

羽島市歴史民俗資料館

イタセンパラの保護啓発活動など行っている団体です。まだ取り組みを始めたばかりとのことで、エコネット応援団の皆様、連携の機会がたくさんあるかもしれません！ぜひ積極的に連携して、取り組みを進めていきましょう！今年の秋にイタセンパラの保護活動を紹介する企画展を実施予定とのことで、ぜひ足を運んでみてください！

NPO 法人生態教育センター

河川環境楽園の自然発見館を拠点に活動されている団体です。自然発見館のハリヨ池やふれあい池にはハリヨが導入されており、継続的に自然環境の保全に取り組み、地域の自然資源を守り育てる活動を行っています。また、公園の貴重な生態系を活かし、地域の小中学生を対象とした環境教育・環境学習を多数実施し、ハリヨの生態や水辺環境の大切さを伝える活動を行っています。

エコネット応援団の皆様と、様々なイベントでの連携の機会があるかもしれませんね！

大垣東高校理数科の課題研究報告会が行われました！

大垣東高校からの報告
岐阜県大垣市 2026.2.9[月]

令和8年2月9日(月)に大垣東高校理数科2年生による課題研究の報告会が実施されました。課題研究とは、理数科2年生の授業「理数探究」の時間に実施され、グループごとに興味を持ったテーマについて1年かけて探究するものです。今年度は物理・化学・生物・数学の各分野計14のテーマについて探究し、報告会には理数科2年生と1年生、指導者として大学の先生方にもご参加いただきました。

最初に全体発表として海津市南濃町清水池においてハリヨ班が調査したハリヨの個体数と清水池の環境の現状を報告した後、各グループのポスターセッションを行い、自信をもって研究の成果を発表しました。指導者の先生方にご指導いただいたり、生徒同士で活発に質疑応答したりすることができました。



▲ハリヨ班による全体発表
「岐阜県海津市南濃町津屋地区清水池周辺におけるハリヨの生息状況」



▲物理分野
「体育館シューズの底は濡らすと滑りにくくなるのか？」

1年生



身近なもの、自分の興味をもてるような実験をしたいと思った。

とても完成度の高い発表だったので、来年も先輩達も見習い頑張りたい。

2年生



分からないこともたくさんあって大変だったけどやりきることができて良かったです。とてもいい経験をすることができました。

大変なこともあったが最終的にはもっと研究したいと思えるような楽しい研究で締めくくれることができてよかった。

実験を考えて失敗して、何回もやるのは少し嫌な気は最後の方にあったけど、でも、楽しかった思い出の方が多いので1年生にも楽しんでもらえたらいいなって思った。

【編集後記】

木曾三川流域生態系ネットワークの取り組みを始めて10年目に突入しました！令和8年度以降も様々な主体による取り組みを進めていき、将来的に流域内外問わず、生態系ネットワークの輪が広がっていくよう、連携を広げていけたらと思います。まずはこのニュースレターをもっと多くの人に読んでほしい！！拡散をお願いします！！



木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会（事務局：国土交通省木曾川上流河川事務所）は、流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力向上と人と自然、人と人の絆を深めることを目的とし、生態系ネットワーク形成に関する取り組みを推進しています。協議会では、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う「木曾三川流域エコネット応援団」を結成し、エコネット応援団の情報共有を通じて地域の交流・協働を促進しています。

SNSで情報を発信中！



木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会事務局

国土交通省 木曾川上流河川事務所 流域治水課

岐阜県岐阜市忠節町5-1

e-mail : cbr-kisojyo-chosa@mlit.go.jp

tel : 058-251-1125



ニュースレターのバックナンバー
(木曾三川流域生態系ネットワーク HP 内)